

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹らんど		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 21名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性にあわせ、成長発達できるように支援していること。(医療的ケアにも対応できている)	・子どもの特性を考慮しながら5領域の個別計画を作成し、それに合わせた支援を日々実施している。ベッドを使用せずに畳の上で日々子ども達がふれあえるように工夫している。熟練した職員が子どもの状態や保護者の希望に応じて母子分離できるようにサポートしていく。	・今後も子どもの特性を観察しながら、保護者の方と日々連携をとり、子どもの成長発達ができるように支援していく。
2	・保護者がいつでも相談しやすいように、寄り添い、相談しやすい環境をつくっている。	・登園中の様子や成長発達できている事を連絡帳のみではなく、降園時に児の様子を伝え、両親とともに共有して、児のほめてもらえる機会を増やしている。保護者がいつでも相談しやすいような声かけをおこなっている。	・今後も保護者がいつでも相談できるようにコミュニケーションを図っていく。
3	・多職種がそれぞれの目線で児の成長発達を考えアプローチして支援を行っている。	・医療的ケア児も多く、看護師、保育士、セラピスト、歯科衛生士等それぞれの特性をいかして子どもにアプローチしている。	・今後もアセスメント力をいかして、多方面からのアプローチを実施しながら成長を促していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との交流会が少ない。	・働いている保護者も多く、定期的な開催はできていない。	・希望している保護者もあり、今後交流会の開催を検討していく。また、降園時には必要時には保護者同士のつながれるようなきかけづくりをしていく。
2	・避難訓練等定期的に実施されているが、保護者への周知が低い。	・利用児の登園日時もばらつきがあり、全員が訓練をうけることが困難である。	・避難訓練実施時には、連絡帳に記載するだけでなく、訓練の様子をSNSで発信したりし、実際の訓練方法を周知できるようにしていく。
3	・地域の子どもの交流機会の検討が必要である。	・自社の幹はうす松江の利用児との交流はあるが、地域の子供達との交流はできていない。 ・地域へ出かけることはあるが、事業所内での活動で完結してしまっている。	・地域の保育園の子ども達とふれあえ、交流できるように今後働きかけていく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 幹らんど

2025年 2月 14

公表日 日

利用児童数

19名

回収数

17名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2			・やや狭い気もするが、関連施設のフリースペースで遊ばせてくれて有難いです。 ・広いお部屋でみんなで楽しく過ごさせていただいています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17				・職員さんが多くて助かっています。 ・多くの職員の方にもてもらえて、安心して通園しています。 ・手厚くみていただいています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17				・いつもきれいな空間で転倒にも配慮していただいた空間になっています。 ・清潔に下さっています。いつもありがとうございます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17				・子どもの特性に応じた個別的な支援をしてくれています。 ・いつも息子の良いところを褒めて伸ばして下さっていると思います。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16			1	・いつも寄り添ってプログラムを立てて下さっていると思っています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17				・子どもの特性や性格を理解していただき、発達に応じた支援をしてくれています。 ・こちらが困っていることを計画に反映して下さり、助かっています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17				・息子はもちろん、母や兄にも寄り添って支援して下さっていると感じています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17				・季節のイベントなどいつも様々な催しをして下さっており、楽しませていただいています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	2	6	・他の地域や幼稚園等との交流があまりないので、他の子どもとの交流する機会があれば良いと思います。 ・同じ幹はうずさんのお友だちとも交流する機会もあり、楽しく活動させてもらっています。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17				・わからないこと、ややこしいこと等も担当の方が丁寧に教えて下さいます。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17				・いつも丁寧に説明して下さっています。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14			3	・定期的に研修会のお知らせがあります。 ・イベント情報はSNSでシェアして下さっています。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	17				・いつも伝えていただいております。	

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17				・子どもの状況に合わせて、よくアドバイスしてくれます。 ・送迎のサポートや相談にのっていただいたり、いつも支えていただいています。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17				・皆様いつもあたたかく寄り添って下さり、心があたたまります。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	3	4	・イベントなどで子ども同士の交流はあるが、保護者間の交流は少ないと思います。中々子どもの症状に差があるので、難しいです。 ・きょうだいの様子も心配して声をかけてくださり、感謝しています。励まされました。 ・フラワーアレンジメントを楽しませて下さり、その後、お茶までさせていただきました。保護者の方々とも楽しく交流させていただきました。子育て以外の時間を持つことがないので、すごく嬉しかったし、一生の思い出になりました。		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16				1	・幹さんがなければ、障がいのある2人をここまで育ててくれなかったなと思うし、笑顔を守っていただいています。これからも未永く相談させてもらえたら嬉しいなと思います。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17					・シェアしていただいていると思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16				1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	1	4	・非常時のことですが、周知されているかと言われると難しいです。 ・緊急時のプリントをいただいたり、連絡先もいただいています。		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		1	5	・訓練があったと聞いています。		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16		1		・必ず守ってくださると信頼して任せられるスタッフさんばかりです。		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17				・何かあれば、すぐご連絡くださいます。		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17				・幹さんが大好きで、いつも楽しみにしています。		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17				・毎日楽しみにしています。 ・いつも待ち構えています。通所じゃない日は残念そうです。		
	29	事業所の支援に満足していますか。	17				・こんな良い事業所は、他にはないと思います。		

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	幹らんど	公表日	2025 年 2月 14日
------	------	-----	---------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人あたりのスペースは狭いが工夫してスペース利用している。</li> <li>・利用児、職員共に人数が多く狭い時もある。</li> <li>・時々利用児が多く手狭になることもあるが、時間差で食事をしたり、別の部屋で遊んだり工夫している。</li> <li>・食事の時間などその児に合わせて時間差で食べているので、ゆっくり食べられる。</li> <li>・定員が10名になるとスペースが狭くなるが、別部屋を利用するなど工夫している。</li> </ul>	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの数は安定して確保されている。</li> <li>・利用児に対し、職員数が少ない時あり。</li> <li>・状態に応じて、速やかに配置できている。</li> <li>・その日の人数により、配慮している。</li> </ul>	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーにして筋力や発達を促している。</li> <li>・完全なバリアフリーではないが、子どもの成長段階にそって配慮した環境だと思う。</li> <li>・工夫はされているが、段差あり。</li> <li>・車椅子のままでは段差があり、昇降しづらい所がある。(簡易スロープはある)</li> <li>・車いすの時はスロープを使用。</li> <li>・絵カードや手話の表など配慮されている。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	21			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、個別に幹らんどや幹はうすの環境を利用している。</li> </ul>	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	18	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返る時間を決めて行っていないので、新年度はグループ会議など行えば良いと思う。</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの活用や話し合いを実施</li> <li>・評価結果を誰もが見えるようにしている。</li> </ul>	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンスで共有し、業務改善している。</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	5		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・幹独自の研究プログラム、広報活動</li> <li>・広い分野での研修を行っている。Zoomでの参加も可能。</li> <li>・外部だけではなく、一緒に働く専門職の方から話がきける</li> </ul>	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	20			

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	20			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	21			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	20			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20		・季節を感じられるような行事など様々な児がそれぞれ楽しめるように工夫して行っている。 ・保育士を中心に指導員、看護師の意見を参考にしている。 ・多職種でスタッフが集まり、それぞれの目線で子どもたちをみている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	20		・季節を感じられるような行事など様々な児がそれぞれ楽しめるように工夫して行っている。 ・子どもの様子をみて、展開している。 ・日々職員間で話し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	21			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	20	1	・週1回のカンファレンス ・個別にチームカンファレンス ・子どもが登園する前に口頭で確認	・密に打ち合わせができていない状況なので、チームで話し合う場を作りたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	4	・その都度、共有している。 ・申し送りノートを活用し、全体共有している。	・就業時間のずれがあるので、当日の振り返りが難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	1		
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	1			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	18			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	20	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	18	2	・併行登園、移行に向けて支援し、地域への保育園など登園できるようになっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	17	1	・支援学校や教育委員会の人が、実際に見学に来てくれた。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					

携	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	4		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	11	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園や子ども園ではなく、地域活動実施。秋祭りの開催。</li> <li>・ 秋祭りで地域の子どもと交流</li> <li>・ 幹はうす松江の利用児と交流がある。</li> <li>・ 散歩を通して地域の方と交流</li> </ul>	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日々の療育内容を記録し、保護者に報告している。</li> </ul>	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ママ同士の交流会の場のセッティング</li> <li>・ 様々な研修のお知らせをしている。</li> <li>・ SNSで発信している。</li> </ul>	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	20			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	20			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 時々交流会を開催</li> <li>・ 必要な保護者に、利用児の保護者をつなげて交流を促している。</li> <li>・ 定期的な保護者会はできていないが、不定期で交流している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ きょうだい同士で交流する機会はない。</li> <li>・ きょうだい同士はできていない。</li> </ul>
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	21			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インスタでも取り組みや様子などを発信</li> <li>・ 会報やインスタグラムを通じて、日々の活動の様子やイベントの様子を発信している。</li> </ul>	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	21			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	19	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 秋まつりを実施</li> <li>・ 幹力カフェで交流</li> <li>・ アトリエ幹での交流</li> <li>・ 秋まつりには地域の方もたくさん来てくれている。</li> </ul>	
非常時等	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	20	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訓練はできているが、BCPの策定はできていない。</li> </ul>
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	21		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期的にお薬手帳を見せてもらい、発作時に使用するお薬を預かっている。</li> </ul>	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お弁当を持参（母が医師の指示のもと対応してくれている）</li> <li>・ 個別のファイルに記載する。</li> <li>・ 食物アレルギーの有無を確認している。対応も医師の指示に基づき、保護者に申請してもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師の指示書に基づく対応はしていない。</li> </ul>

の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21		・訓練をした時には連絡帳に記載している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	20		・週1回はカンファレンスを行い、ヒヤリハット、インシデントを共有し、再発防止に努めている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	20		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	16		・拘束はしたことがない。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹らんど		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 16名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもの特性にあわせ、成長発達できるように支援していること。(医療的ケアにも対応できている)	・子どもの特性を考慮しながら5領域の個別計画を作成し、それに合わせた支援を日々実施している。ベッドを使用せずに畳の上で日々子ども達がふれあえるように工夫している。	・今後も子どもの特性を観察しながら、保護者の方と日々連携をとり、子どもの成長発達ができるように支援していく。
2	・保護者がいつでも相談しやすいように、寄り添い、相談しやすい環境をつくっている。	・登園中の様子や発達できている部分を連絡帳のみではなく、降園時に児の様子を伝え成長していることを両親とともに共有して、児のほめてもらえる機会を増やし、自己肯定感をあげている。	・今後も保護者がいつでも相談できるようにコミュニケーションを図っていく。
3	・多職種がそれぞれの目線で児の成長発達を考えアプローチして支援を行っている。	・医療的ケア児も多く、看護師、保育士、セラピスト、歯科衛生士等それぞれの特性をいかして子どもにアプローチしている。	・今後もアセスメント力をいかして、多方面からのアプローチを実施しながら成長を促していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者との交流会が少ない。	・働いている保護者も多く、定期的な開催はできていない。 ・利用日も違い、利用児同士も交流がない。	・放課後デイサービスの保護者のみでなく、自施設に併設している児童発達支援の保護者との交流会等開催時には参加を促していく。
2	・避難訓練等定期的に実施されているが、保護者への周知が低い。	・利用児の登園日時もばらつきがあり、全員が訓練をうけることが困難である。	・避難訓練等実施した時には、色々な角度からの方法を考察し、シミュレーションを実施し、それを保護者にも周知できるようにしていく。
3			



公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 絆らんど

公表日 2025年2月14日

利用児童数

2名

回収数

2名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1			1		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	幹らんど		公表日		2025 年 2月 14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		・時々利用人数が多いと狭く感じることもあるが、らんどを利用し、遊ぶ場所を確保している。 ・プライバシーの確保ができるように配慮している。 ・定員10名となるとスペースが狭いが、別部屋を使用したりして工夫している。	・利用状況によっては、もう少しスペースがあってもよいのか
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15			・訪問など移動で抜けてしまうことがあり、何度か人数が足りないことがあった。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	14	1	・車いすのままでは、階段があり、昇降しづらいところがある。(簡易スロープはある) ・バリアフリーになっている。日常の遊びの中で成長発達を促している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	16			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・個々に希望を聞き、対応している。 ・評価結果を誰もが見えるように置いている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	16		・カンファレンスでの共有、話し合い、改善点に応じて、変更、修正している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	16		・外部の研修に積極的に参加し、カンファレンスで共有できるようにしている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15	1	・その日の子どもの状態に応じて変化を持たせてあげられるかわりをしてしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14			

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16		・多職種でのかかわりで、情報共有している。 ・保育士を中心に指導員、看護師の意見も参考にしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	15			・特例で利用児の状況や利用時間により、集団活動の計画ができない場合がある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16		・必要に応じてカンファレンスで共有 ・役割について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	2	・必ずではないが行っている。 ・できていない時もあるが、日々のかかわりの中で共有している。	・就業時間が個々違うため、当日の振り返りは難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	16			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	12			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16		・本人にゆっくり選んでもらう。 ・親から本人の好きなことを聞く。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	14			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1		・まだその年齢に達していない。 ・機会がない。 ・該当者なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	4	・愛徳と連携	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	8	・秋まつりを開催	・長期休みなど1日利用の日に設けていけたらと考える。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	・法人で出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	16		・送迎時に行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	12	3	・研修のお知らせはしている。	・保護者が余裕をもって研修を受けられる機会というのではない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	16			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	16			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	16			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10	5	・行事にて交流あり ・秋祭りで交流	・きょうだい同士で交流する機会はない。 ・孤立を防ぐためにも親が参加できる集まりを企画していきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16		・会報やInstagramを通じて活動内容を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	14			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16		・定期的にお薬手帳を見せてもらっている。	・BCPは策定していない。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	1	・医師の指示に基づき、食物アレルギーは保護者から申請してもらっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	14	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16		・インシデントを共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14				

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	幹らんど		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 8日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 8日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 20日		～ 2025年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3施設	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援後はカンファレンスを用いて情報共有おこなっている。	情報共有実施し、意見交換しながらより専門的に支援実施している。	事例検討を行い、他の職員へ支援を紹介するだけでなく、助言をもらいより充実した支援をおこなっていく。
2	専門的な知識をもち、児の個性にあわせて支援方法を実施している。	児が保育・学校生活をすごしやすいように、職員にわかりやすい言葉で伝え、環境調整や支援を実施している。	・今後もカンファレンスを用いながら、児の個性のある支援が、保育・学校等で実施できるように支援していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援している活動を定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用して発信してはいない。	保護者には訪問後情報提供は実施している。	活動報告を通信やHP等で発信していく。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 絆らんど

2025年 2月 14

公表日 日

利用児童数

3名

回収数

3名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3					
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	2			1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	3					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2			1		
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	1				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2		1		・自宅に来て情報提供もしてくれている。	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2		1		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2		1		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2		1		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				



公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025 年 2月 14日

幹らんど

2025 年 2月 13日 児童数 3名 回収数 2施設

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ		
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			・頂いた助言や説明は、とてもわかりやすく取り入れやすいです。 ・保育所職員は深い専門的知識を持ち合わせていないので、どういう風な支援の仕方があるのか教えていただけました。	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			・満足しています。	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			・適切に回答して頂いています。	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			・自宅への訪問看護時の様子などの情報を共有させて頂く事により、課題や困りごとが軽減する事もあります。	
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			・通常の医療的ケアに加え、遠足などの行事には同行して頂き、支援頂いています。	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		幹らんど					公表日	2025 年 2月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点			
環境・ 体制・ 整備 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	3						
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3						
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	1	1					
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	2	1					
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2	1					
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		2					
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	3						
適切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	3						
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3						
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3						
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	1					
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1					
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	3						
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2	1					
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	2	1					
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3						
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	3						
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	3							
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	3							

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	1	・児による	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1	・機会がない	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	2		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	1		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3			